

3.1.5 機能保持 WG 及び研究班会議の開催

(1) 業務の内容

(a) 業務の目的

大地震時における救急救命、被災後の生命維持の拠点となる医療施設、および被災状況等の情報発信の拠点となる情報通信施設など重要施設の機能保持および耐震性向上を目的として、医療業界および建築業界の民間企業や学協会等と連携する。

(b) 平成 21 年度業務目的

実験結果の評価や実験計画など当該研究に関する検討を行うため、参画研究機関及び業務協力者からなる WG を開催する。

(c) 担当者

所属機関	役職	氏名
独立行政法人防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター	主任研究員	佐藤 栄児
	企画室長	井上 貴仁
	主任研究員	梶原 浩一
	研究員	酒井 久伸
	客員研究員	福山 國夫
東京農工大学	准教授	鎌田 崇義
国立保健医療科学院	施設科学部長	笥 淳夫
	主任研究官	小林 健一

(2) 平成 21 年度の成果

(a) 業務の成果

実験結果の評価や実験計画など当該研究に関する検討を行うため、参画研究機関及び業務協力者からなる WG 等を 9 回開催した。ここで、平成 20 年度の実験評価を行うとともに、平成 22 年度の実験計画、現状での地震対策に関する調査事項等について議論および検討を行った。

検討の詳細は、4.1.1「活動報告」に示す。

(b) 引用文献

なし

(c) 学会等発表実績

なし

(d) 特許出願，ソフトウェア開発，仕様・標準等の策定

1)特許出願

なし

2)ソフトウェア開発

なし

3) 仕様・標準等の策定

なし

(3) 平成22年度業務計画案

実験計画書の作成作業や実験結果の評価など当該研究に関する検討を行うため、参画研究機関及び業務協力者からなるWGを開催する。